

### 自己点検

**A**

A-1 個人が提供しているホームページ情報と自己点検評価等の大学が提供している情報の有用性の優劣

A-2 防災研配属学生及び卒業生からみた防災研の評価や意見

A-3 志望校選定として、大学の自己点検は役立つのか？

A-4 授業点検評価と同様に外部の講演会等で聴衆の評判(あるいは主催者団体の評価)

A-5 部門・センターの業績評価、達成度評価

### 研究活動

#### 専門以外の活動

**B**

B-1 専門以外の活動(公的私的を問わない)

#### 研究への積極性

**C**

C-1 科研費その他の研究費申請件数(不採択でもよい)

#### 研究の視点

**D**

D-1 大学における防災研究の位置づけ

D-2 災害予防に関する研究と災害発生後の対応技術に関する研究の評価

D-3 防災研究における産官学連携の意義

D-4 社会的に許容されるリスクレベルに関する研究

#### 研究支援体制の整備

**E**

E-1 研究支援体制の整備(時間、設備など)の充実のための具体的な方策

E-2 学内業務の合理化のための具体的な取り組み、成果

E-3 研究者の独立性の確保のための具体的な方策

### 教育活動

#### 若手育成

**F**

F-1 現状における防災技術者の継続的な専門能力開発スキーム

F-2 指導学生人数(留学生も)

F-3 学内における若手育成のための具体的な方策

F-4 学会等学外における若手育成への貢献

F-5 課外活動における学生の指導

F-6 社会人を対象にした防災学の博士後期課程の開設

F-7 防災学の若手研究者の育成

F-8 教育、学生指導等における(研究室レベルでの)取り組み、成果

F-9 防災研の講義とフォーラムの価値

### 広報

#### G

G-1 防災研の出版物の価値

G-2 見学受け入れ等の広報活動への取り組み

G-3 成果の国民に対する周知活動

#### H

H-1 テレビ・ラジオ出演

H-2 科学雑誌掲載

H-3 週刊誌・月刊誌・新聞報道

H-4 講演会講師

H-5 自治体広報誌掲載

H-6 国際的活動(学会発表以外も含む)

H-7 活動範囲のバリエーション度(多様な場、いづれもの学会に登場していること)

H-8 防災関連のボランティア・NPO活動等への支援・連携・情報交換等

#### I

#### 学術的貢献

I-1 短期的に役に立たなくても長期的な視点から価値のある研究

I-2 学術的貢献: 掲載誌ランク、引用回数、学会賞等表彰、以外の研究成果の評価項目?

#### J

#### 委員会活動での評価

J-1 委員会などにおける位置づけ(委員長か、委員か、幹事か、等)

J-2 委員会を通じて上げられた具体的な成果

J-3 学内・研究所内における委員会活動や共同研究の世話等

J-4 学会委員

J-5 委員会委員

J-6 関与した公共目的の委員会の分類ごとに国際性、全国レベル、地方レベルとその重要性

#### K

#### 研究成果

K-1 学際的成果

K-2 防災研究成果による特許等取得

#### L

#### 社会的貢献

L-1 委員会の分類ごとに重み付けした評価

L-2 審議会等での学識経験者に期待されている役割

L-3 社会からの要請への対応

L-4 研究成果のアピール

L-5 研究成果のデータベース・シュミレーションシステム(プログラム)等の公開

L-6 研究成果のソフト化・製品化

#### M

#### 防災以外の分野との関連

M-1 防災研究における環境研究の位置づけ

M-2 その分野における防災研の研究以外の情報の価値

M-3 その分野から見た防災研の研究の価値と品質

M-4 防災研の研究とその分野との関連度

### 研究成果とその活用

どのような評価項目があるか？